

生涯教育研修会報告書

学術部 学発番号 第 12-048 号

平成 25 年 1 月 10 日 報告

報告者: 庄司月美

所属: 京都大学医学部附属病院

連絡先: 075-751-3664

主題: 造血器腫瘍における染色体検査

日時: 平成 24 年 12 月 22 日(土) 14:00 ~ 16:00

場所: キャンパスプラザ京都 第 3 会議室

講師: 市村 剛 氏

講師所属: 株式会社エスアールエル遺伝子染色体解析センター 染色体 1 課

分類: 検体検査 20 点

全体参加人数: 18 名

日臨技会員: 11 名、賛助会員: 6 名、非会員: 1 名

以下、講演内容など

昨年に続き、遺伝子染色体分野研修会を京都府技師会で開催しました。前回は、検査部における遺伝子検査、病理部における遺伝子検査の全般についてそれぞれの技師が講演し、また、肺癌の治療と遺伝子検査について臨床医の先生にご講演いただきましたので、今回は、染色体検査に焦点をしぼり、研修会を開催しました。

主題を造血器腫瘍における染色体検査として、染色体の基礎から染色体異常と疾患、結果の表記方法とその解釈についてご講演いただきました。造血器腫瘍の病型診断、予後予測において染色体検査は欠かすことのできない検査ですが、染色体検査を実施している施設が少ないため、専門学会以外では聴講する機会がなかなか得られない分野です。また、結果の解釈が難しい分野でもあります。今回、基礎的な内容に加えて、実際の症例を用いた解説を聴くことができ、染色体異常の種類や、造血器腫瘍の分子病態への理解が深まりました。

染色体検査のほかに、FISH や遺伝子検査との関連についても説明いただきました。FISH と遺伝子検査で結果が合わない場合の理由や、それぞれの利点と使われ方についても解説頂きました。

遺伝子染色体検査は実施施設が少なく、携わる技師数も少ない分野ですが、技師会で研修会を開くことで、他分野の方でも参加しやすくなるため、今後も引き続き遺伝子染色体研修会を開催できればよいと思います。

(報告者: 庄司 月美)